

丸長鍍金 清水工場合宿研修

2017.10.7（土）～8（日）静岡ホテル時之栖にて

“コミュニケーションを円滑にして良い会社にしていきたい”をテーマに進行は私、望月が務め、以下のメンバーと合宿研修を行い、2日目は久慈社長同席にて発表をいたしました。



参加メンバー ☆リーダー

A チーム：☆篠原、村上、芦川

B チーム：☆若井、戸塚、山口、染谷

C チーム：☆古本、池田、市川、澤畑

1日目

●コミュニケーション能力向上させる5つの方法

- 1.第一印象を良くする・・・笑顔で「語先後礼」で挨拶
声のトーンは音階の「ソ」の音を意識
- 2.聞き上手になる・・・相手に焦点をあて傾聴、全体の雰囲気を感じながら傾聴
- 3.質問上手になる・・・キーワードは3つの質問
 - ・「具体的には・・・」
 - ・「もっと詳しく教えてください」
 - ・「それで全部ですか？」または「他にないですか」
- 4.信頼関係を築く・・・相手との共通点を見つける
- 5.盛上る話題の選定・・・遊んだ話題をストック



●学習討論会

本業以外の他業種ソフトクリーム販売への進出について
賛成・反対派に分かれメリット・デメリットについて討論

●マシュマロチャレンジゲームに挑戦

3チームに分かれ乾麺パスタを使い、同じベクトルで考え協力し合い自立したタワーの

高さを競い合う。



優勝は若井チーム 61 cm、2位は篠原チーム 49 cm、3位古本チーム 47.5 cmでした。若井チーム高さはバッチリでしたが今にも倒壊寸前、古本チームは堅固な安定感。お互いのタワーを確認し次につなげる改善点を見つけ出す。ゲームを通して学んでいただきました。

2日目

●久慈社長より、お話をいただきました。

- ・コミュニケーションの積み重ねていくことの重要性
- ・具体的なテーマをもって積極的な意見交換ができる場作り
⇒色々な考えがでてくる
- ・次の世代へのバトンタッチを見据え、会社が一つになること



●テーマ発表

A チーム：篠原（リーダー）、村上、芦川（発表者）

「良い会社ってなに？」

社員や会社に関る人が幸せになれる会社



問題点 “コミュニケーション不足”



対策 “発言しやすい環境づくり”

- 1) 話しやすい環境づくり・・・朝の挨拶、他愛もないことでも話かける
- 2) 話しかけられやすい表情づくり・・・笑顔、目を合わせて対話、怒った表情はしない
- 3) 怒らない・・・客観的に捉える、指摘・指示を支援の言葉
- 4) コミュニケーションの時間をつくる・・・個人面談、労いの言葉をかける、食事会の機会
- 5) 話を聞き、すぐには否定はしない・・・相手の話を最後まで聞く、一緒に考える



まとめ “コミュニケーションを手段として皆が手をつなぎ幸せをつくる”

意見

- ・対策は具体的に！
- ・食事会を具体的に計画！

B チーム：若井（リーダー）、戸塚、山口、染谷（発表者）

「コミュニケーションとは」

問題点 “話ができない”

① 人

- 1) 名前がわからない⇒名札は確実に励行、採用者、異動者の自己紹介
- 2) 相談したい相手が忙しい⇒複数の理解者を決める
- 3) 遠慮してしまう⇒勇気を出して一歩踏み出す
- 4) 相談したい相手の所在がわからない⇒行先表示、連絡が取れる工夫

② 共有

- 1) 話す場がない⇒ミーティング、意見のすくい上げ
- 2) 情報が一方通行⇒作業指示書だけではなく重要なことは口頭で説明
縦横のつながりを親密にとる
- 3) 縦横のつながりが不十分⇒仕事以外に交流をもつ

意見

- ・情報伝達の工夫！
製造作業は基本、作業指示書であるが仕様レベルによっては指示書に一工夫を加える
- ・仕事をやっていく上で名札の励行、はじめて就く職場では自己紹介が重要である

C チーム：古本（リーダー）、澤畑、市川・池田（発表者）

『作業のやり方 伝わっている！？』

外国人留学生・中国人研修生とはコミュニケーションがとれている

日本人とはうまくとれていない

何故

外国人に教える時、工夫をする

- ・言葉もゆっくり・・・母国の単語を織り交ぜ、最後にわかったか確認をする。
- ・身振り手振りをつかう・・・体をつかっただけの表現

日本人（新人）に教えるとき工夫が足りていない

- ・常識的な部分については当然知っているだろうという思い込み

今後の改善

- ・やってみて、やらせてみせる
- ・教え方を工夫する

意見

- ・マニュアルだけ渡して出来るわけがない。反復訓練しチェックしながら覚えさせる
- ・教え方についてワンポイント、写真を貼り付けたらわかりやすい

- ・常識⇒世代間ギャップ 世代間であるべき姿を教育
- ・留学生、研修生との折角の機会、文化・言葉を学び、もっとコミュニケーションを図る
⇒将来、何かの縁でコラボできる可能性がある

総評

冒頭のコミュニケーション能力を向上させる5つの方法に始まり、賛成派・反対派に分かれての討論会、ゲーム形式で同じベクトルで互いに協力し考え他チームと競い合う。

最終日は今おける問題点・改善案を発表し自由に意見を出し合いました。

参加者全員が“目的を共有し協力していく”というところでは出来たのかと思います。

今後、部下や同僚との接し方、教え方に役立てていただきたい。